自然の恵みと作ってくれている人に感謝

秋田県産どっさり地産地消メニュー

1月28日、全国学校給食週間にあわせて秋田県産の食材をたくさん使った給食が市内小中学校と大曲支援学校せんぼく校に提供されました。

この日は「秋田県産どっさり地産地消メニュー」。煮びたしやつみれ汁のほか佐竹北家ゆかりの料理「御狩場焼」も登場。この日使用した野菜（ほうれん草、雪下キャベツ、大根、にんじん、ねぎ）は、すべて仙北市産の野菜でした。また、御狩場焼は、焼いた鶏肉に給食センター特製の山椒みそがつけらています。

取材に訪れた桧木内小学校は、全校児童がランチルームに集まって食べます。いただきますの後は、おしゃべりをしない10分間のもぐもぐタイム。みんなしっかりと給食を味わっている様子でした。

今日の給食はどうだった?と聞くと「おいしかった。おつゆが好きだった」や、「御狩場焼がおいしかった」と好きなメニューは様々のようでした。

栄養教諭の千田京子先生から一言

学校給食を通して、地域に伝わる郷土料理や地場産物を知り、食の面からも地元仙北市のよさに気づくきっかけになってくれれば嬉しく思います。そのために今後も地域に根ざした給食作りに努めていきたいと思っています。

みんな味わって食べるもぐもぐタイム。

第6回PDA高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会

角館高校が世界を舞台に健闘

1月23日と24日、即興型英語ディベートの世界大会「第6回PDA高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会」がオンラインで開催され、角館高校の2年生3人が出場しました。

即興型英語ディベートは、一つの論題に対し、肯定と否定チームに分かれてディベート（討論）し、ジャッジを説得するというもの。12月に行われた全国大会に出場した角館高校は、授業での取り組みが評価され、今回の世界大会への出場となりました。

日本を含む17か国、21チームが参加した今大会、初出場の角館高校は惜しくも準決勝進出とはなりませんでしたが、予選4ラウンドのうち2勝（11位）し、健闘しました。

開始直前まで、対戦チーム、論題、肯定側・否定側がわからない即興型英語ディベート。英語力が必要なことはもちろん、論理的思考力や幅広い知識、コミュニケーション能力が求められます。

2018年から英語の授業にディベートを取り入れ、生徒たちを指導する高橋輝享先生は「最初は生徒たちの気持ちや考えを言葉で聞きたいと思った。ディベートによって生徒たちの英語力の向上が見られた」と振り返ります。

取材に訪れた23日は、予選ラウンド1から3が行われ、タジキスタンとタイに勝利、出場した3人からは、笑みがこぼれました。1日目を終え、渡邉愛生さんは「あっという間の1日だった。あらためてチームメイトのありがたさを実感した」と、戸嶋友哉さんは「ディベートを通じてその国の貧困や経済に対する考え方の違いで意見が通らないなど国際大会ならではの難しさを感じた」と振り返りました。門脇福さんは「みんなと力をあわせ、得意な部分を補いあいながらディベートできてとても楽しかった。ほかの国の文化も知ることができてとてもよい機会だった」と話しました。

右から高橋先生、門脇さん、渡邉さん、戸嶋さん、仙北市の外国語指導助手で生徒たちを指導するマーク・ワイルズさん、同校の大塚繁太郎先生。

「政府はCOVID-19ワクチン接種を義務化すべきである」の論題についてディベートする予選ラウンド3の様子。

第15回

仙北市芸術文化章授章式

1月23日、仙北市芸術文化協会（加藤義規会長）が主催する「第15回仙北市芸術文化章授章式」が西木温泉ふれあいプラザクリオンで開催され、梅田榮子氏、山口心海氏に芸術文化章が贈られました。※年齢は授章決定時を掲載

「地域・文化・短歌」

梅田榮子 氏
（79歳 田沢湖生保内）

昭和50年に田沢湖短歌会に入会し、その後事務局を担当。数度にわたる「合同歌集」の発行や、各種の短歌会の実施などに尽力し、長年にわたり会の充実に務められました。

平成24年に田沢湖文化協会の監事に就任、その後副会長に就任し会の発展に努め、平成25年に仙北市芸術文化協会の理事に就任し、その運営に尽力され、地域文化の発展に貢献されました。

「個人・地域・書道」

故 山口心海 氏
（78歳 角館町西勝楽町）

平成19年に角館芸術文化協会に入会。平成28年から令和元年まで4年間、同会会長として、また仙北市芸術文化協会では、平成28年から令和元年まで4年間、会長を歴任し、組織の強化、各事業の充実を図るとともに会の発展に尽力されました。

師の石井省吾先生の書道教室を引き継ぎ、20代から50年以上も、小・中学生・高校生に指導し各種大会では、上位入賞者を多数輩出しました。また、大曲仙北書写教育研究会会長として書写教育に尽力され、地域文化の発展に貢献されました。

栄光・表彰 ～輝くとき

秋田県老人クラブ連合会表彰授賞式

地域活動に貢献の個人や団体が受賞

11月6日、秋田県老人クラブ連合会表彰授賞式が秋田拠点センター・アルヴェ（秋田市）で開催され、地域の活動にあたり功績のあった個人や団体が表彰されました。

1月26日、市役所田沢湖庁舎に受賞報告に訪れた仙北市老人クラブ連合会の熊谷勇一郎会長は「この受賞を励みに地域を盛り上げ、自分たちのできる範囲で地域活動を広げていきたい」と話しました。

仙北市からは左記の方々が表彰されました。〈敬称略〉

秋田県知事表彰
【育成功労者表彰】
さくらクラブ 会長 星宮忠清
【優良老人クラブ表彰】
中生保内クラブ 会長 松田イヱ子

秋田県老連会長表彰
【育成功労者表彰】
北部長寿クラブ 会長 田口榮良
上荒井老人クラブ 会長 伊藤哲雄
【優良老人クラブ表彰】
岡崎辰子クラブ 会長 津嶋初雄
【育成従事者表彰】
卒田もみじ会 川合藤夫
向陽クラブ 渡辺由美子

全国老人クラブ連合会表彰
【活動賞・地域づくり活動部門】
高野若駒クラブ 会長 藤原助一

秋田県老連表彰
【ものづくり活動部門】
高野若駒クラブ 会長 藤原助一

前列右から松田イヱ子さん、田口榮良さん、仙北市老人クラブ連合会の熊谷勇一郎会長、門脇市長、星宮忠清さん、伊藤哲雄さん、後列右から倉橋副市長、川合藤夫さん、津嶋初雄さん、渡辺美津さん、藤原助一さん、渡辺由美子さん。